

AI通訳機「POCKETALK®(ポケットーク)」が 東京メトロ・東京駅、銀座駅の旅客案内所などで採用

1月1日(祝・水)より利用開始

ソースネクスト株式会社(本社:東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター33階 代表取締役社長:松田 憲幸)は、2020年1月1日(祝・水)より、弊社のAI通訳機「POCKETALK(ポケットーク) S」が、東京メトロのサービスマネージャーおよび東京駅、銀座駅などの旅客案内所で、接客ツールとして利用されることをお知らせいたします。

本製品は、互いに相手の言葉を話せない人同士がコミュニケーションできる双方向の音声翻訳機です。74言語に対応し、55言語では音声とテキストに、19言語ではテキストに翻訳できます(詳細はwebページの対応言語一覧を参照)。

東京地下鉄株式会社(本社:東京都台東区東上野三丁目19番6号 代表取締役社長:山村 明義)は、東京都区部を中心に9路線の地下鉄を運営しています。外国人旅行者からの問い合わせが増加していることを背景に、本製品が接客ツールとして採用されました。東京駅や銀座駅などの5ヶ所の旅客案内所、および駅構内を移動しながらご案内を行なうサービスマネージャーが携行し、利用されます。

弊社では、「言葉の壁をなくす」というミッションの実現を目指し、今後も多くの企業様を通じて、本製品の提供を広げて参ります。



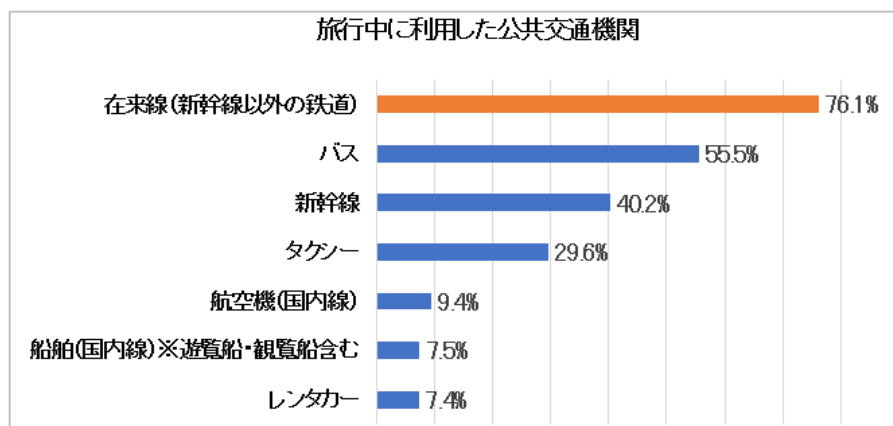
東京駅 旅客案内所



銀座駅 旅客案内所

【 旅行中に利用した公共交通機関の第1位は、在来線 】

観光庁が発表した平成30年「受入環境について訪日外国人旅行者にアンケート」によると、外国人旅行者が都内で利用した交通機関として、「在来線(新幹線以外の鉄道)」(76.1%)が最多となりました。各交通機関においても、今後ますますインバウンドの受入整備が求められることが予想されます。



出典:観光庁 平成30年「訪日外国人旅行者の受入環境整備に関するアンケート」

【「ポケットーク」とは】

ソースネクストの「POCKETALK(ポケットーク)」は、互いの言葉を話せない人同士が自国語のまま対話できるAI通訳機です。74言語に対応し、55言語で音声とテキストに、19言語でテキストに翻訳できます。クラウド上の最新最適なエンジンとAIを使った翻訳精度の高さが特長で、長い文章も訳せます。Wi-Fiのない所でも世界133の国と地域で、そのまま使えるモバイル通信機能を内蔵し「契約不要、通信料なし」で、買ってすぐ使えます。

最新版の「ポケットークS」では、搭載したカメラで文字を撮影すると自動で55言語を認識して翻訳したり、旅行中心の6シーンでAIを相手に会話レッスンができるなど、多彩な機能を名刺サイズのボディに満載しています。2017年12月の発売以来、「ポケットーク」シリーズ(初代および「ポケットーク W」を含む)の累計出荷台数(サンプル等除く)は、2019年12月9日時点で60万台を突破、11月度の音声翻訳機カテゴリにおける月間販売台数シェアは、90.9%となりました。

製品プレスリリース

「ポケットーク W」:https://sourcenext.co.jp/pressrelease_html/JS/2018/2018072601

「ポケットーク S」:https://sourcenext.co.jp/pressrelease_html/JS/2019/2019110703

詳細URL

<https://pocketalk.jp/>

【 東京地下鉄株式会社 】

- 会社名 : 東京地下鉄株式会社
- 本社所在地 : 東京都台東区東上野三丁目 19 番 6 号
- 詳細 : <https://www.tokyometro.jp/>
- 導入場所 : ・駅構内旅客案内所
上野、銀座、新宿、表参道、東京
・サービスマネージャーが携帯している駅
上野、浅草、秋葉原、日本橋、池袋、銀座、押上<スカイツリー前>、新橋、新宿、新宿三丁目、六本木、飯田橋、九段下、表参道、明治神宮前<原宿>、東京



「POCKETALK(ポケットーク) S」

コピーライト表記について

- 製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記の通りお願いいたします。

© SOURCENEXT CORPORATION

お客様お問い合わせ先

- ソースネクスト・カスタマー・サポートセンター
- ご購入前相談ダイヤル : 0570-035-333 (IP 電話からは 082-553-1081)